

【アメリカ】日本、EU 及びメキシコとの重要鉱物をめぐる合意に対する上院外交委員長の声明

2026年2月4日、米国、日本及びEU（欧州連合）は、重要鉱物サプライチェーン強靱（じん）性に関する戦略的パートナーシップ構築へ向けた共同声明を発表した。そこでは、米国及びEUが、この共同声明発表から30日以内に、重要鉱物のサプライチェーンの安全性向上へ向けた了解覚書を締結する方針が示された。また、2025年10月27日に日米首脳が締結した「採掘及び加工を通じた重要鉱物及びレアアースの供給確保のための日米枠組み（Framework for Securing the Supply of Critical Minerals and Rare Earths through Mining and Processing）」は、米国及びEUによる検討の対象領域を包含するものであることが明記された。

同日、重要鉱物に関する米国とメキシコの行動計画（U.S.-Mexico Action Plan on Critical Minerals）も公表された。同行動計画に基づき、米国及びメキシコは、重要鉱物サプライチェーンの脆（ぜい）弱性軽減へ向けた協調的な貿易政策及びメカニズムの構築を進めることとなる。

上院外交委員会のジム・リッシュ（Jim Risch）委員長（共和党）は、トランプ（Donald Trump）政権による日本、EU 及びメキシコとの合意を受け、次の声明を公表した。「メキシコ、EU 及び日本との歴史的な重要鉱物協定に署名したトランプ大統領に対し祝意を表明する。我々は、同盟国及びパートナー諸国と共に、米国及びその友好国が現代の技術に必要不可欠な重要鉱物へのアクセスを維持できるように努める。これらの協定により、中国の重要鉱物部門への依存を低減し、中国による世界市場の操作に対処することが可能となる。価格が予測可能となれば、米国及びその同盟国への強要や、米国企業の弱体化はより困難となる。また、防衛及び先端技術に対する我が国の優位性維持にも寄与する。私は、国内外の重要鉱物生産拡大に向けた政権による重要な取組を今後も支持していく。」

海外立法情報課・渡辺 広樹

- <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100973830.pdf>
- <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100973831.pdf>
- <https://ustr.gov/about/policy-offices/press-office/press-releases/2026/february/ambassador-jamieson-greer-announces-us-mexico-action-plan-critical-minerals>
- <https://www.foreign.senate.gov/press/rep/release/risch-on-critical-minerals-agreements-with-eu-mexico-and-japan>